

# 留学生と足助高校生交流

## たんころりん作りに挑戦

愛知教育大の留学生五人が四、六日、豊田市足助町に滞在し、地元の足助高校の生徒たちと交流した。高校生らの案内で、足助町の古い町並みを観光したり、竹あんどん「たんころりん」を作ったりして日本語に触れた。

五人は中国やブラジル、インドネシア、マラウイか



高校生らに教えてもらい、たんころりんを作る留学生たち＝豊田市足助町で

内で足助八幡宮や町並みを散策した後、たんころりん作りに挑戦。事前に「足助たんころりんの会」から作り方を学んだ高校生八人の手ほどきを受けながら、竹を丁寧に編んであんどんの形に仕上げた。

インドネシアから来たサ

ルサビリ・リフキさん(三)は「最初は作るのが難しかったけど、すごく楽しかった。高校生たちのおかげで日本文化を深く知ることができ、『ありがとう』と言いたい」と感謝。作り方を教えた一年大山一颯さん(二)は「外国の人との交流は貴重な体験。機会があっ

たらまた参加したい」と話した。  
(森本尚平)